

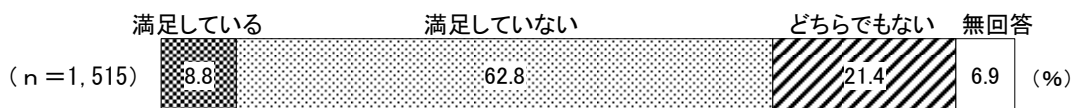
9 【道路整備について】

(1) 県内の道路整備状況の満足度

◇「満足していない」が6割を超える

問39 あなたは、千葉県内の道路状況について、満足していますか。(○は1つ)

<図表39-1> 県内の道路整備状況の満足度



千葉県内の道路状況について、満足しているか聞いたところ、「満足していない」(62.8%)が6割を超えて多くなっている。「満足している」(8.8%)は約1割で、「どちらでもない」(21.4%)は2割を超えている。(図表39-1)

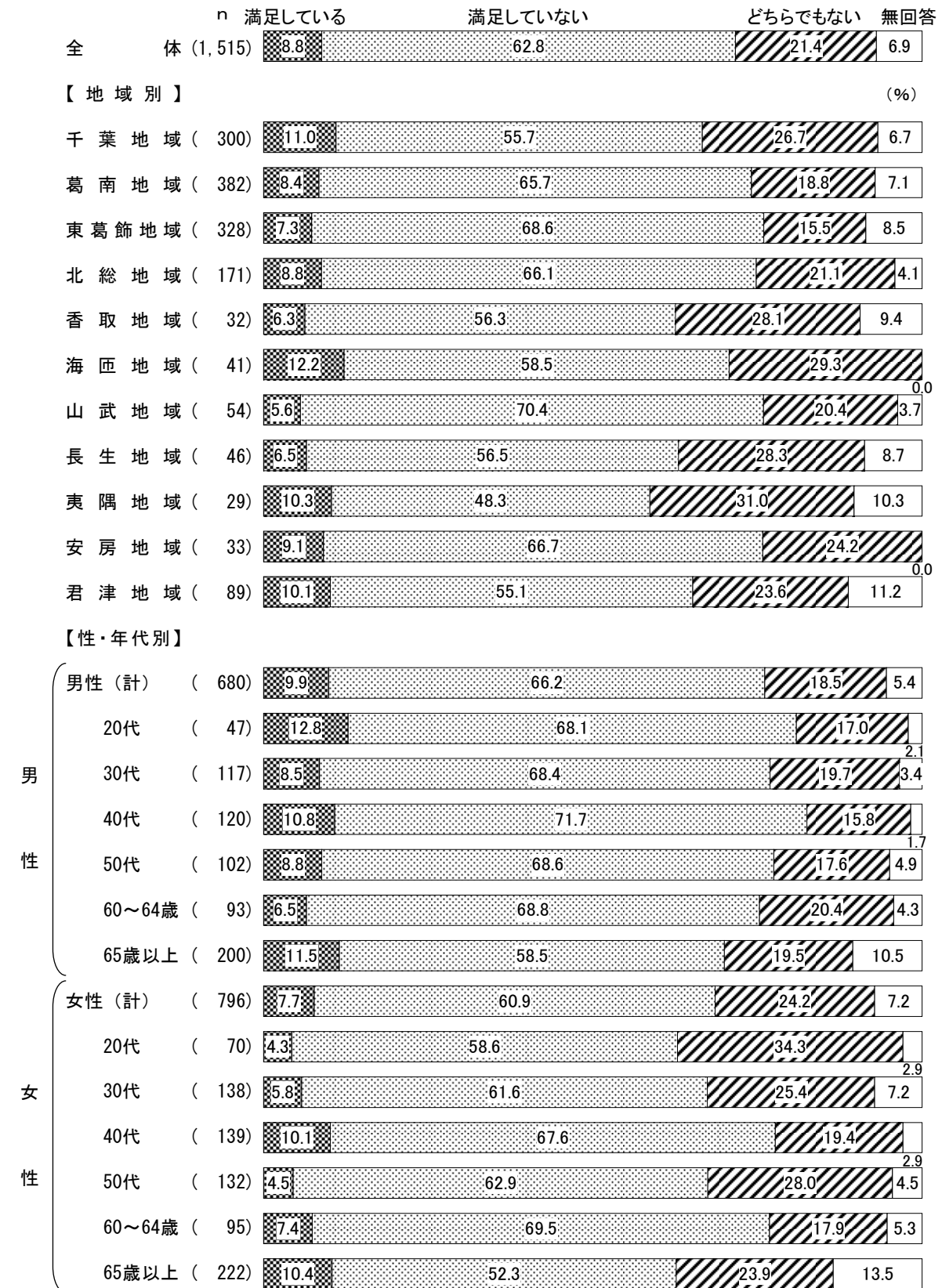
【地域別】

地域別にみると、「満足している」が最も多いのは“海匝地域”で12.2%となっている。「満足していない」は“山武地域”(70.4%)が7割となっている。(図表39-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「満足している」が最も多いのは男性20代で12.8%となっている。「満足していない」は男性40代(71.7%)が7割を超えている。(図表39-2)

<図表39-2> 県内の道路整備状況の満足度／地域別、性・年代別

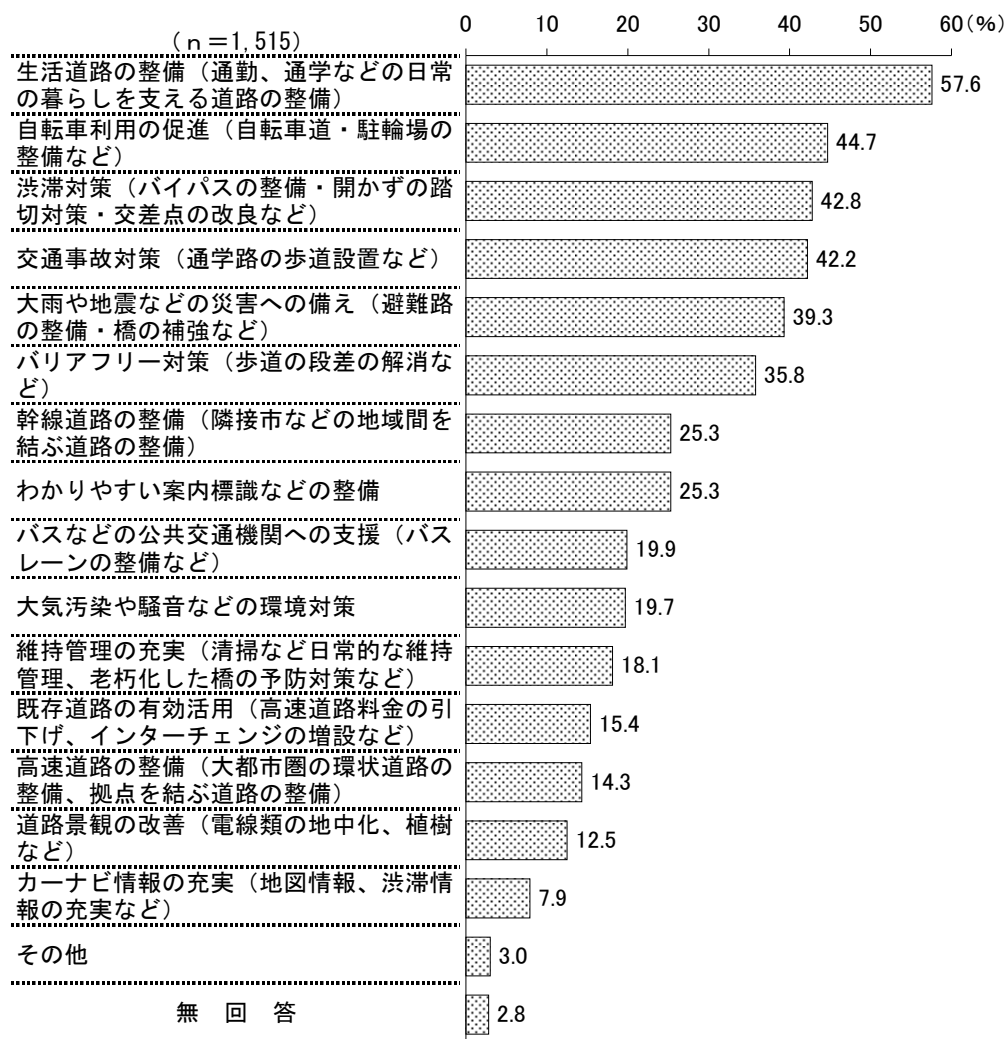


(2) 道路整備で優先的に取り組むべき課題

◇「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」が約6割

問40 あなたは、今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題は何だと思えますか。
(〇はいくつでも)

<図表40-1> 道路整備で優先的に取り組むべき課題



今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「生活道路の整備（通勤、通学などの日常の暮らしを支える道路の整備）」(57.6%) が約6割で最も多くなっており、以下、「自転車利用の促進（自転車道・駐輪場の整備など）」(44.7%)、「渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切対策・交差点の改良など）」(42.8%)、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」(42.2%) などが続く。(図表40-1)

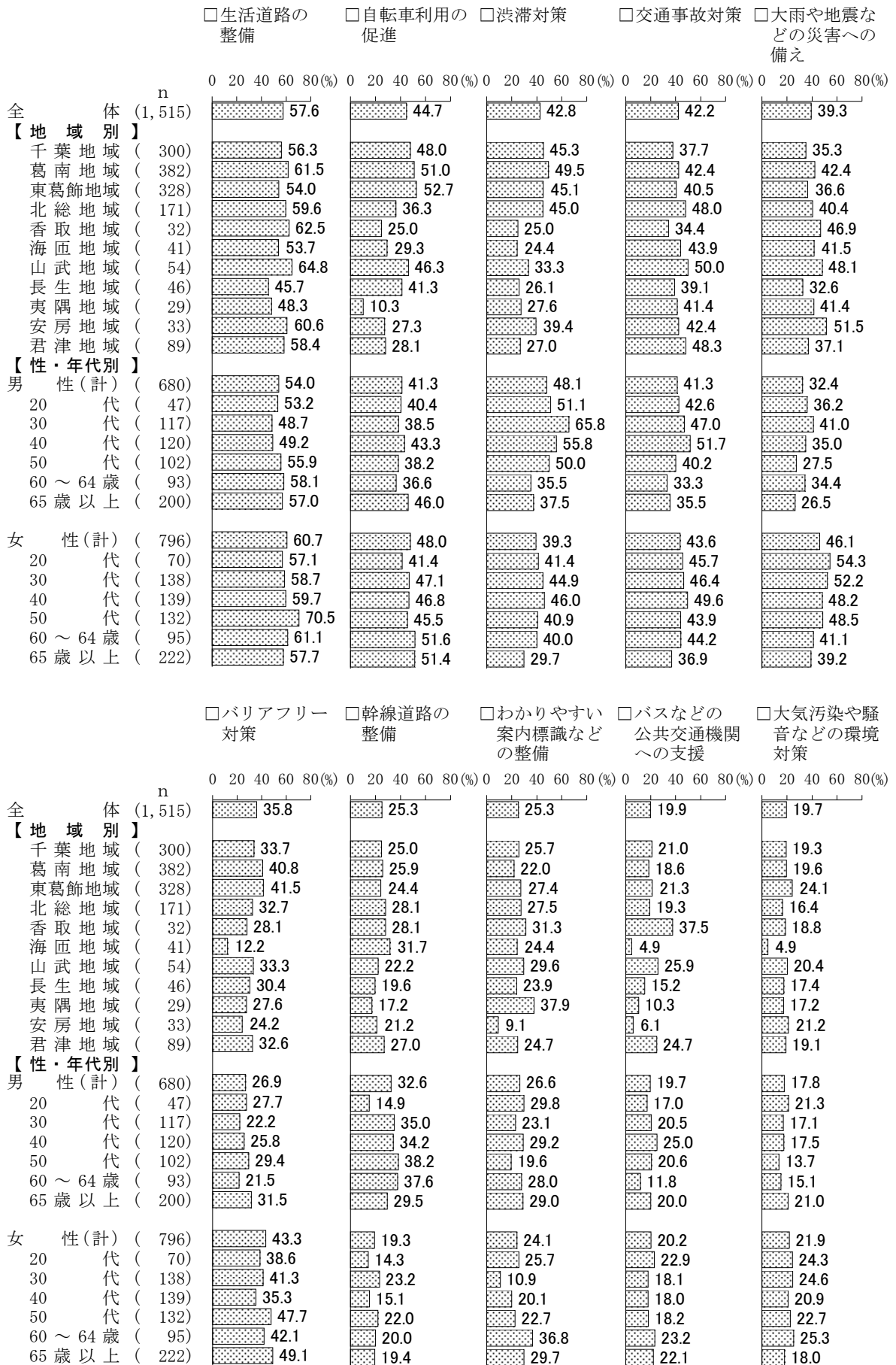
【地域別】

地域別にみると、「自転車利用の促進」は“東葛飾地域”（52.7%）と“葛南地域”（51.0%）がともに5割を超えている。「渋滞対策」は“葛南地域”（49.5%）が約5割、“千葉地域”（45.3%）、“東葛飾地域”（45.1%）、“北総地域”（45.0%）がいずれも4割台半ばで、それ以外の地域に比べて特に多くなっている。「大雨や地震などの災害への備え」は“安房地域”（51.5%）が5割を超えている。「わかりやすい案内標識などの整備」は“夷隅地域”（37.9%）が約4割となっている。「バスなどの公共交通機関への支援」は“香取地域”（37.5%）が約4割となっている。（図表40-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「生活道路の整備」は女性50代（70.5%）が7割となっている。「渋滞対策」は男性30代（65.8%）が6割台半ばと多く、男性40代（55.8%）でも5割台半ばとなっている。「大雨や地震などの災害への備え」は女性20代（54.3%）が5割台半ばとなっている。「バリアフリー対策」は女性50代（47.7%）・65歳以上（49.1%）がともに約5割となっている。「幹線道路の整備」は男性50代（38.2%）・60～64歳（37.6%）が約4割となっている。「わかりやすい案内標識などの整備」は女性60～64歳（36.8%）が3割台半ばとなっている。（図表40-2）

<図表40-2> 道路整備で優先的に取り組むべき課題／地域別、性・年代別（上位10項目）



(3) 社会実験期間中の東京湾アクアラインの利用状況

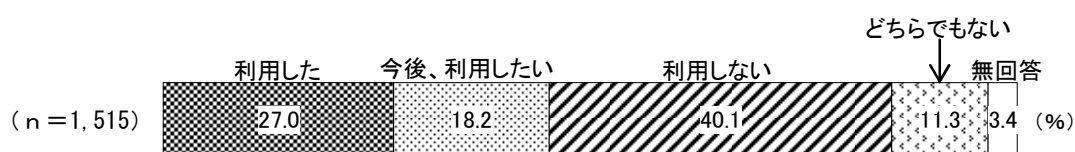
◇「利用した」は約3割

現在、首都圏における交流・連携の強化や地域経済の活性化、また、渋滞緩和などによる環境等への負荷の軽減のため、全日、ETC車を対象に、東京湾アクアラインの料金を普通車は800円、大型車では1,320円に大幅に引き下げる社会実験が行われています。

※社会実験とは、新たな施策の展開や円滑な事業執行のため、社会的に大きな影響を与える可能性のある施策の導入に先立ち、場所や期間を限定して施策を試行・評価するものです。

問41 あなたは、今回の社会実験期間中（平成21年8月1日以後）に東京湾アクアラインを利用しましたか。または、利用したいと思いますか。（○は1つ）

<図表41-1> 社会実験期間中の東京湾アクアラインの利用状況



平成21年8月1日以後の社会実験期間中に、東京湾アクアラインを利用したか聞いたところ、「利用した」(27.0%)は約3割となっている。「今後、利用したい」(18.2%)は約2割で、「利用しない」(40.1%)は4割となっている。(図表41-1)

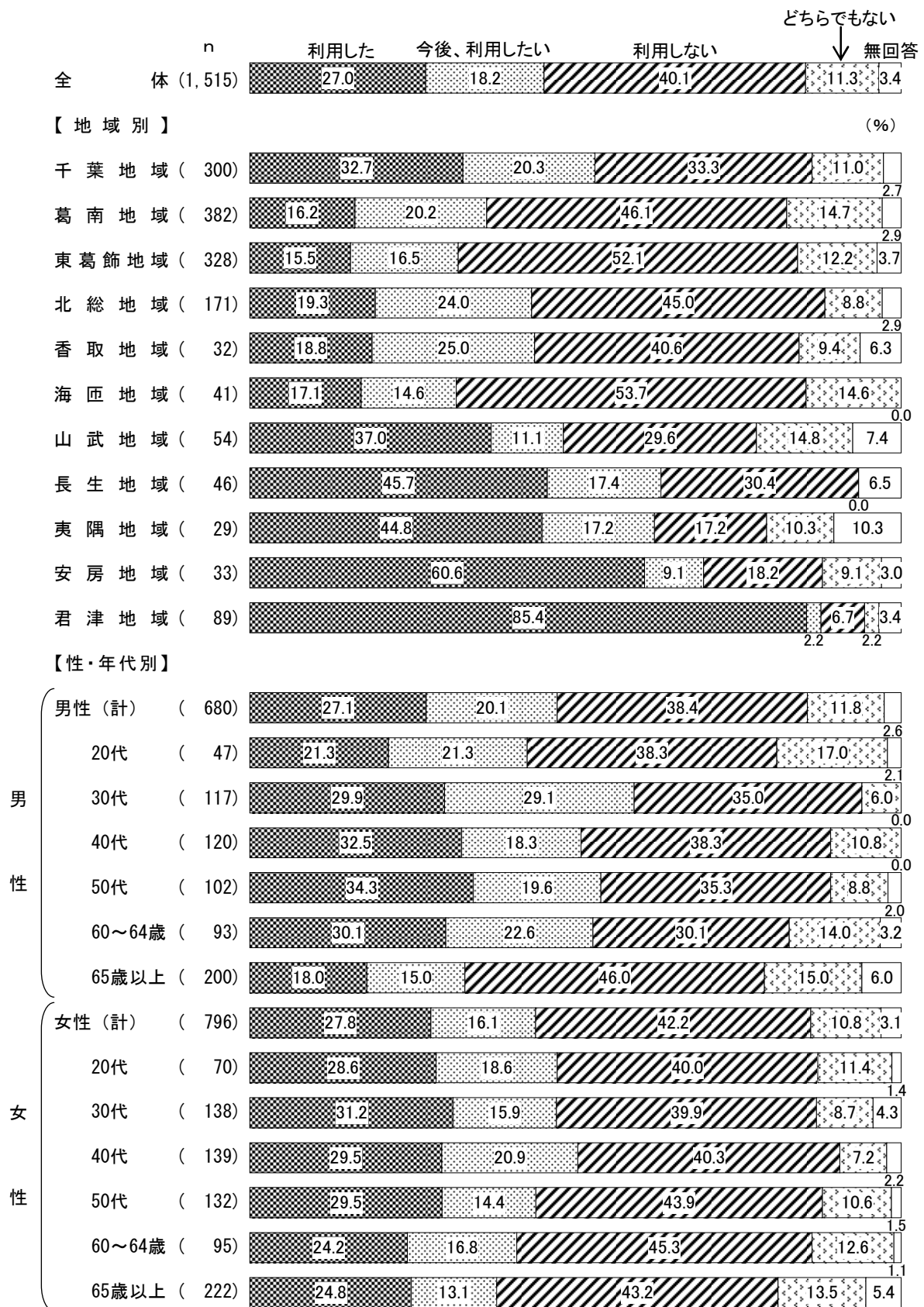
【地域別】

地域別にみると、「利用した」は“君津地域”(85.4%)が8割台半ば、“安房地域”(60.6%)が6割と多くなっている。「利用しない」は“海匝地域”(53.7%)と“東葛飾地域”(52.1%)が5割を超えている。(図表41-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「利用した」は男性50代(34.3%)が3割台半ばとなっている。(図表41-2)

<図表41-2> 社会実験期間中の東京湾アクアラインの利用状況／地域別、性・年代別



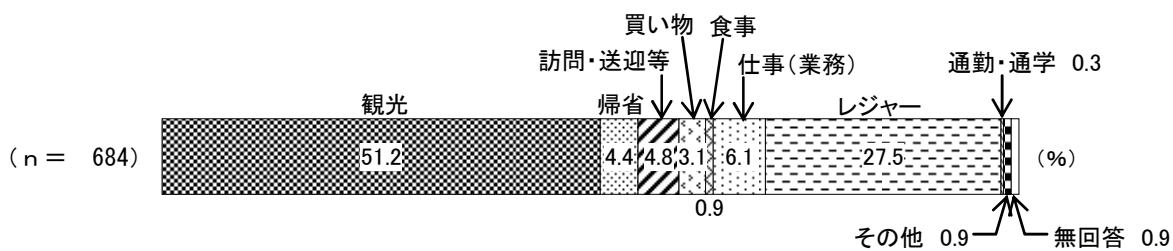
(3-1) 東京湾アクアラインを利用する目的

◇「観光」が5割を超え、「レジャー」が約3割

(問41で「利用した」「今後、利用したい」とお答えの方に)

問41-1 あなたが、東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的は何ですか。(〇は1つ)

<図表41-1-1>東京湾アクアラインを利用する目的



平成21年8月1日以後の社会実験期間中に、東京湾アクアラインを「利用した」または「今後、利用したい」と答えた人(684人)に、利用の主な目的を聞いたところ、「観光」(51.2%)が5割を超えて最も多くなっており、以下、「レジャー」(27.5%)、「仕事(業務)」(6.1%)などが続く。

(図表41-1-1)

【地域別】

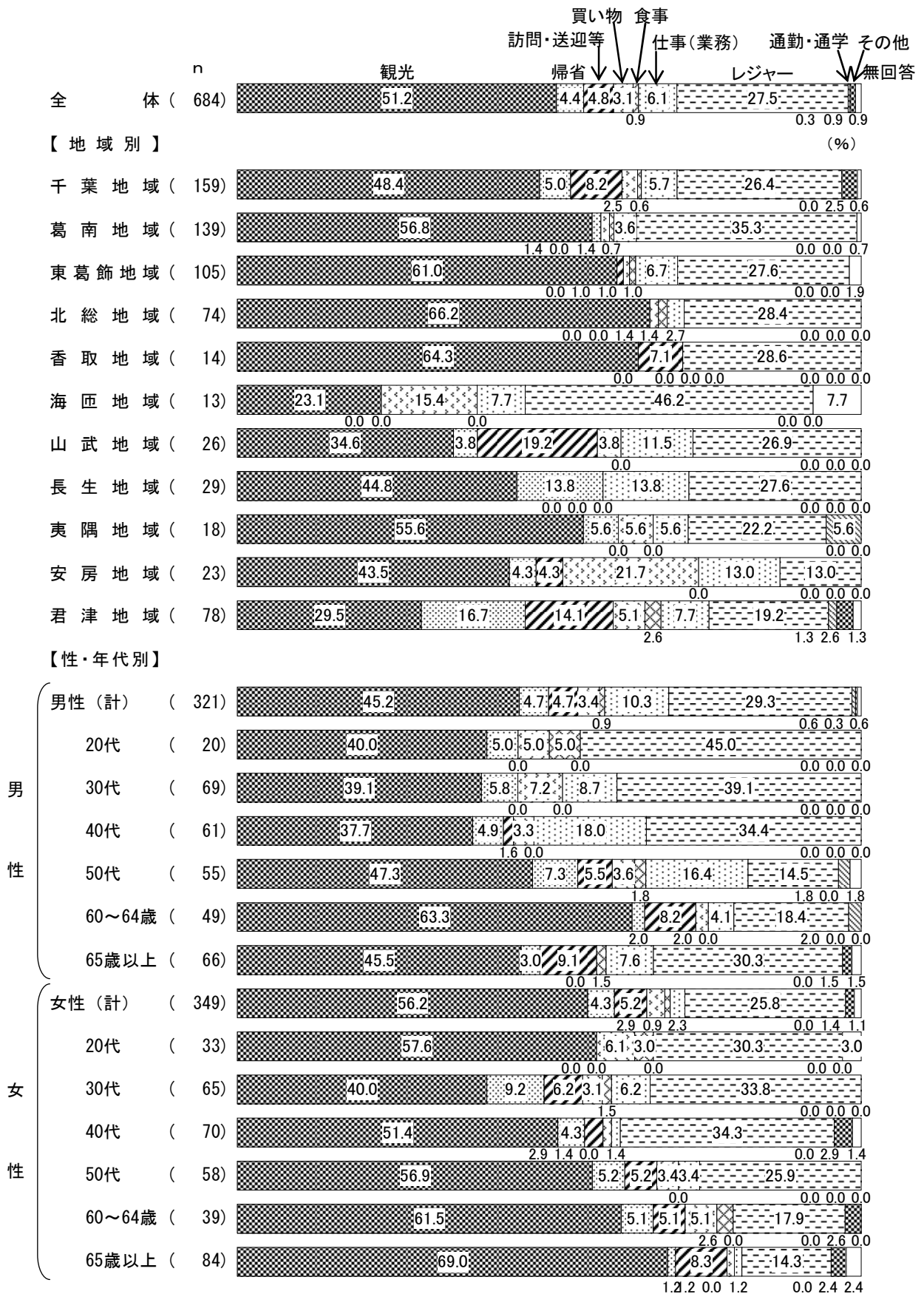
地域別にみると、「観光」は“北総地域”(66.2%)と“香取地域”(64.3%)がともに6割台半ばとなっている。「レジャー」は“海匝地域”(46.2%)が4割台半ばと多くなっている。

(図表41-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光」は女性65歳以上(69.0%)が約7割と多く、男女ともに60~64歳(男性63.3%、女性61.5%)でも6割を超えている。「レジャー」は男性20代(45.0%)が4割台半ばとなっている。「仕事(業務)」は男性40代(18.0%)が約2割となっている。(図表41-1-2)

<図表41-1-2>東京湾アクアラインを利用する目的／地域別、性・年代別



(3-2) 東京湾アクアラインを利用するときの目的地

◇「神奈川県」が約4割で、「海ほたるパーキングエリア」が3割台半ば

(問41で「利用した」「今後、利用したい」とお答えの方に)

問41-2 あなたが、東京湾アクアラインを利用した(したい)主な目的地はどこですか。

(○は1つ)

<図表41-2-1>東京湾アクアラインを利用するときの目的地



平成21年8月1日以後の社会実験期間中に、東京湾アクアラインを「利用した」または「今後、利用したい」と答えた人(684人)に、利用時の主な目的地を聞いたところ、「神奈川県」(39.8%)が約4割で最も多くなっており、以下、「海ほたるパーキングエリア」(33.8%)、「東京都」(17.3%)などが続く。(図表41-2-1)

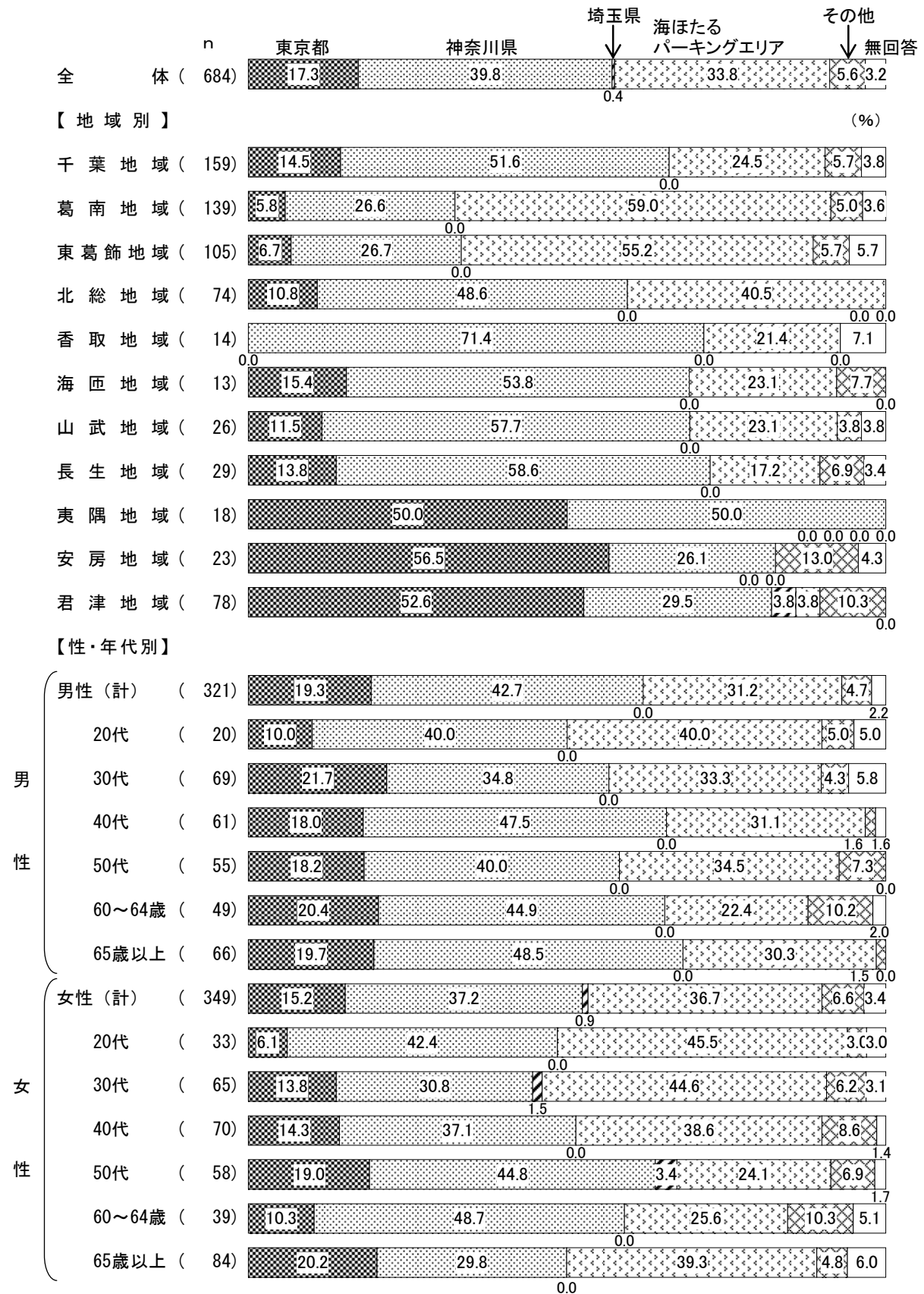
【地域別】

地域別にみると、「海ほたるパーキングエリア」は“葛南地域”(59.0%)が約6割、“東葛飾地域”(55.2%)が5割台半ばと多くなっている。「東京都」は“安房地域”(56.5%)、“君津地域”(52.6%)、“夷隅地域”(50.0%)がいずれも5割台と多くなっている。(図表41-2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「海ほたるパーキングエリア」は女性20代(45.5%)・30代(44.6%)がともに4割台半ばとなっている。「東京都」は男性30代(21.7%)・男性60~64歳(20.4%)・女性65歳以上(20.2%)が2割を超えている。(図表41-2-2)

<図表41-2-2> 東京湾アクアラインを利用するときの目的地/地域別、性・年代別



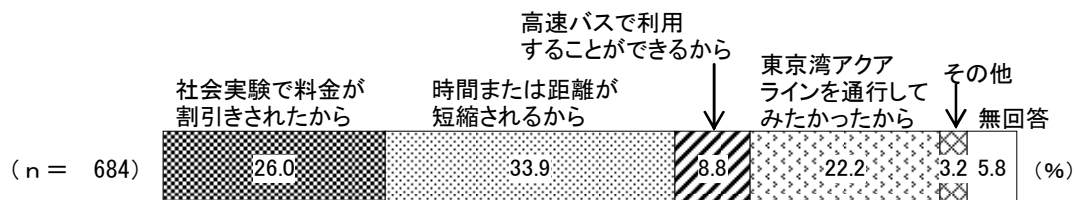
(3-3) 東京湾アクアラインを利用する理由

◇「時間または距離が短縮されるから」が3割台半ば

(問41で「利用した」「今後、利用したい」とお答えの方に)

問41-3 あなたが、東京湾アクアラインを利用した(したい)主な理由は何ですか。(○は1つ)

<図表41-3-1>東京湾アクアラインを利用する理由



平成21年8月1日以後の社会実験期間中に、東京湾アクアラインを「利用した」または「今後、利用したい」と答えた人(684人)に、利用する理由を聞いたところ、「時間または距離が短縮されるから」(33.9%)が3割台半ばで最も多くなっており、以下、「社会実験で料金が引き下げられたから」(26.0%)、「東京湾アクアラインを通行してみたかったから」(22.2%)などが続く。

(図表41-3-1)

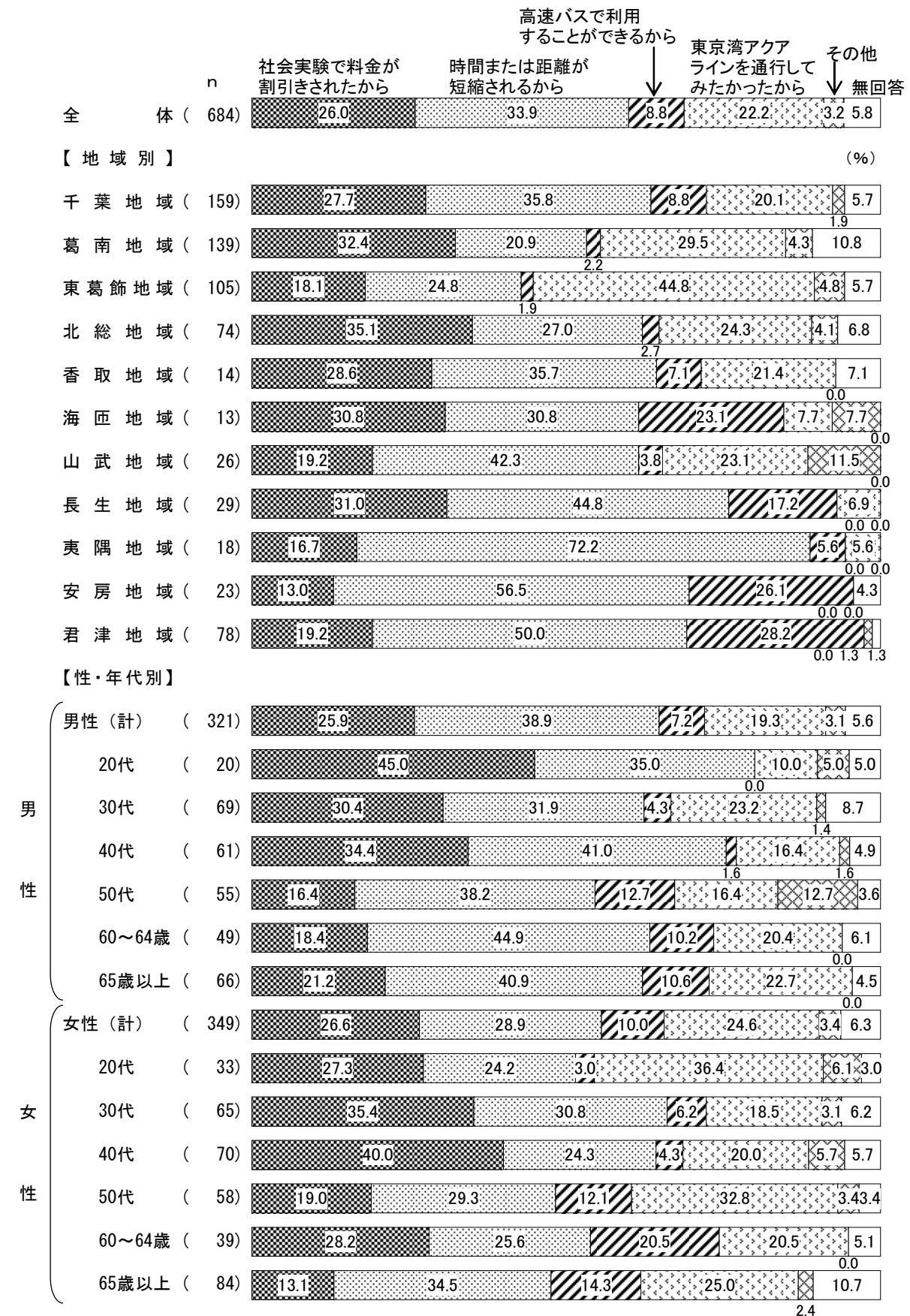
【地域別】

地域別にみると、「時間または距離が短縮されるから」は“夷隅地域”(72.2%)が7割を超えて最も多く、“安房地域”(56.5%)と“君津地域”(50.0%)でもともに5割台となっている。「社会実験で料金が引き下げられたから」は“北総地域”(35.1%)が3割台半ばとなっている。「東京湾アクアラインを通行してみたかったから」は“東葛飾地域”(44.8%)が4割台半ばと多くなっている。「高速バスで利用することができるから」は“君津地域”(28.2%)が約3割、“安房地域”(26.1%)と“海匝地域”(23.1%)が2割台半ばと多くなっている。(図表41-3-2)

【性・年代別】

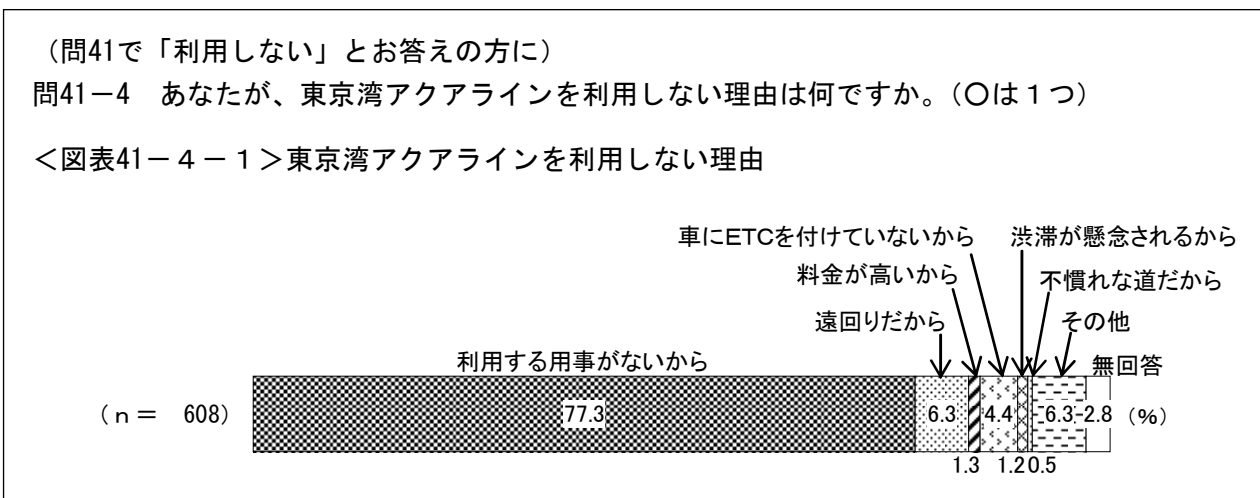
性・年代別にみると、「時間または距離が短縮されるから」は男性60~64歳(44.9%)が4割台半ばとなっている。「社会実験で料金が引き下げられたから」は男性20代(45.0%)が4割台半ば、女性40代(40.0%)が4割となっている。「東京湾アクアラインを通行してみたかったから」は女性20代(36.4%)が3割台半ばとなっている。「高速バスで利用することができるから」は女性60~64歳(20.5%)が2割となっている。(図表41-3-2)

<図表41-3-2> 東京湾アクアラインを利用する理由／地域別、性・年代別



(3-4) 東京湾アクアラインを利用しない理由

◇「利用する用事がないから」が約8割



平成21年8月1日以後の社会実験期間中に、東京湾アクアラインを「利用しない」と答えた人(608人)に、その理由を聞いたところ、「利用する用事がないから」(77.3%)が約8割で最も多くなっており、以下、「遠回りだから」(6.3%)、「車にETCを付けていないから」(4.4%)などが続く。

(図表41-4-1)

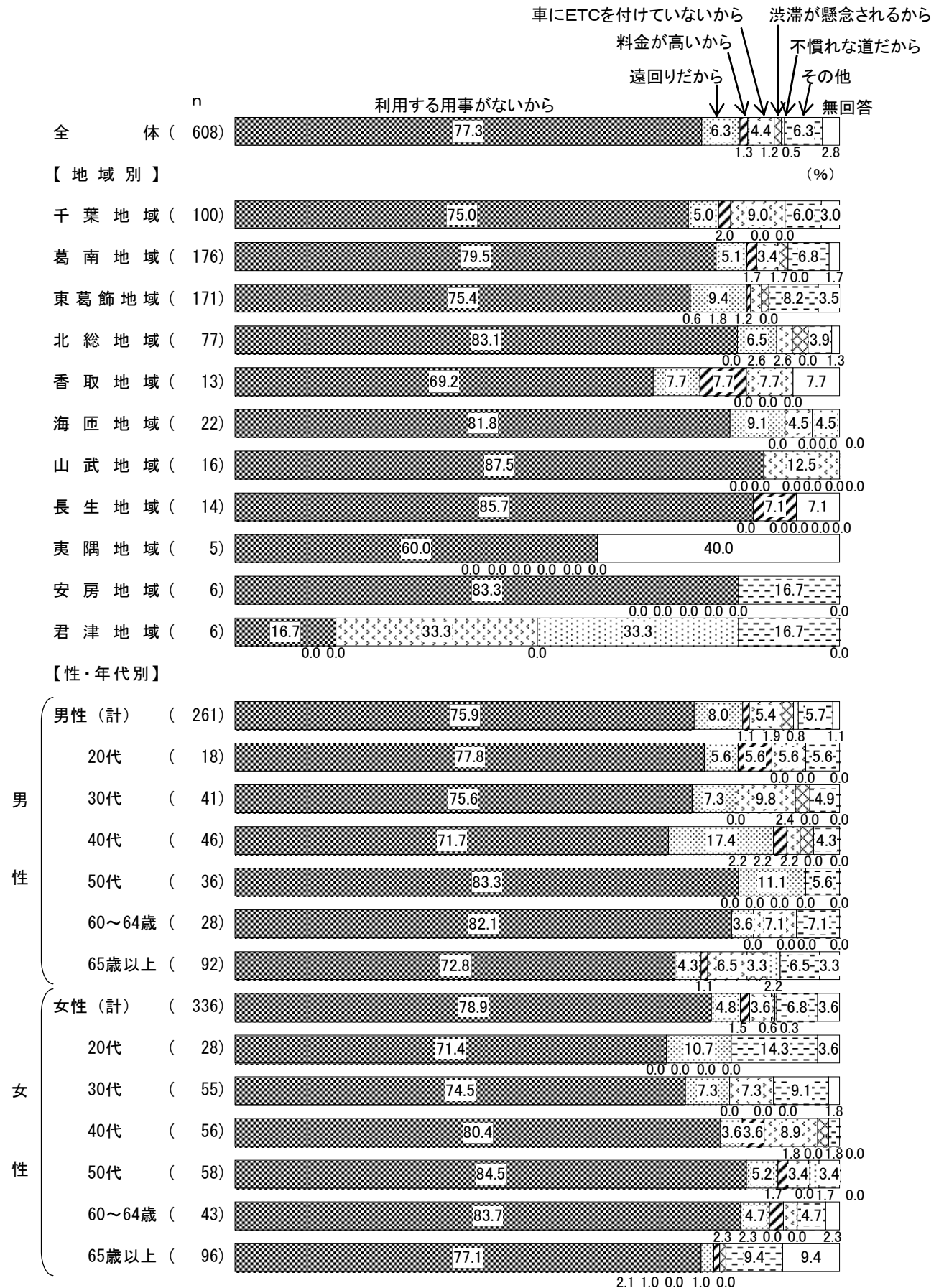
【地域別】

地域別にみると、“君津地域”を除くすべての地域で、「利用する用事がないから」が最も高い割合となっている。(図表41-4-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「利用する用事がないから」はすべての年代で7割以上となっている。「遠回りだから」は男性40代(17.4%)が約2割となっている。(図表41-4-2)

<図表41-4-2> 東京湾アクアラインを利用しない理由/地域別、性・年代別

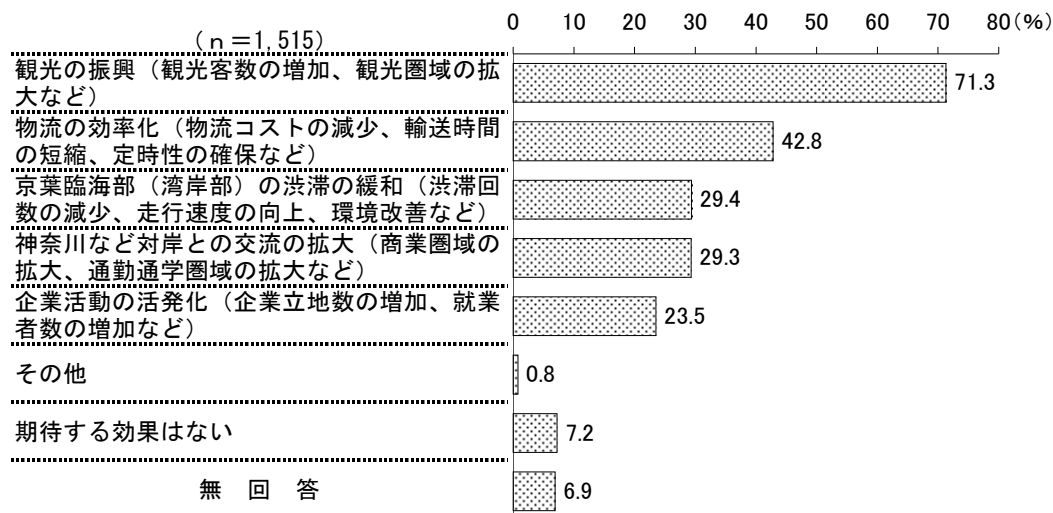


(4) 東京湾アクアラインの料金の引き下げに期待する効果

◇「観光の振興（観光客数の増加、観光圏域の拡大など）」が7割を超える

問42 あなたが、東京湾アクアラインの料金の引き下げにより期待する効果は何だと思いますか。
(〇はいくつでも)

<図表42-1> 東京湾アクアラインの料金の引き下げに期待する効果



東京湾アクアラインの料金の引き下げにより期待する効果を聞いたところ、「観光の振興（観光客数の増加、観光圏域の拡大など）」（71.3%）が7割を超えて最も多くなっており、以下、「物流の効率化（物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など）」（42.8%）、「京葉臨海部（湾岸部）の渋滞の緩和（渋滞回数の減少、走行速度の向上、環境改善など）」（29.4%）、「神奈川など対岸との交流の拡大（商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など）」（29.3%）などが続く。（図表42-1）

【地域別】

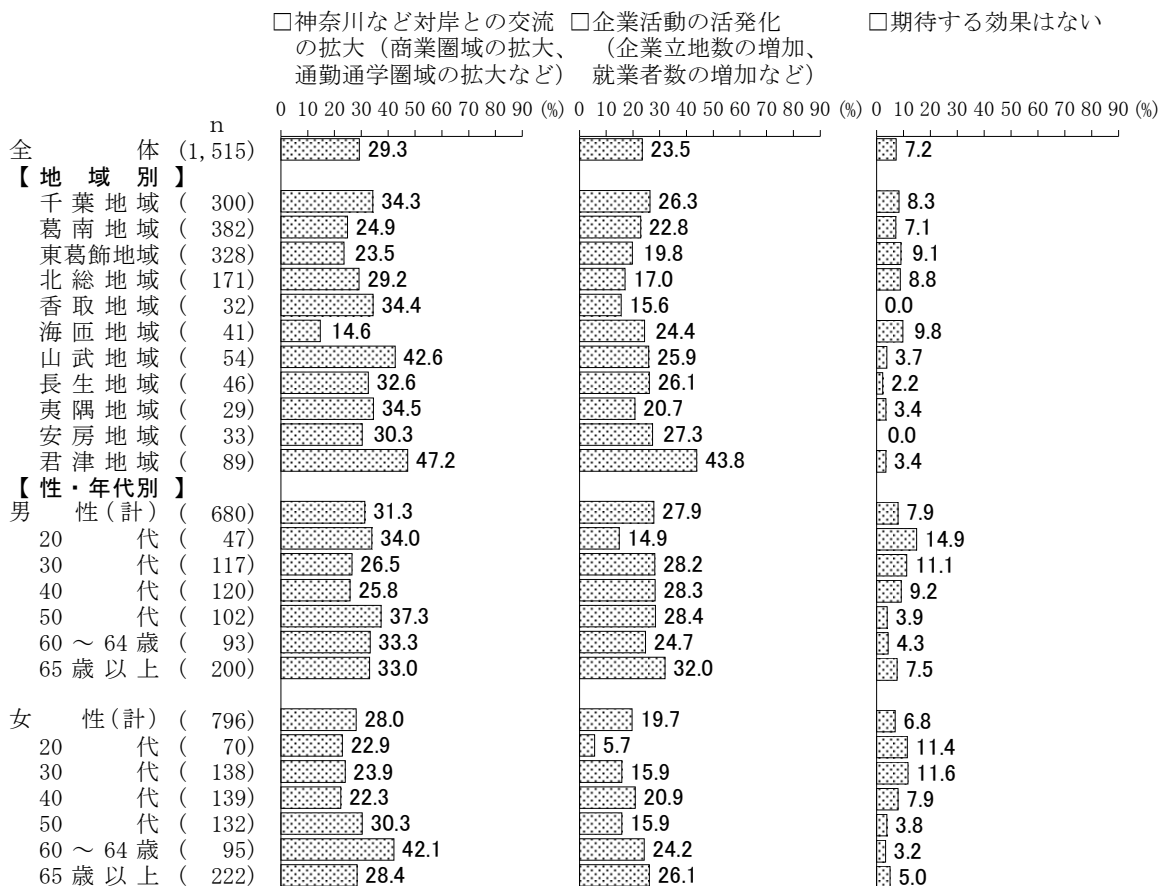
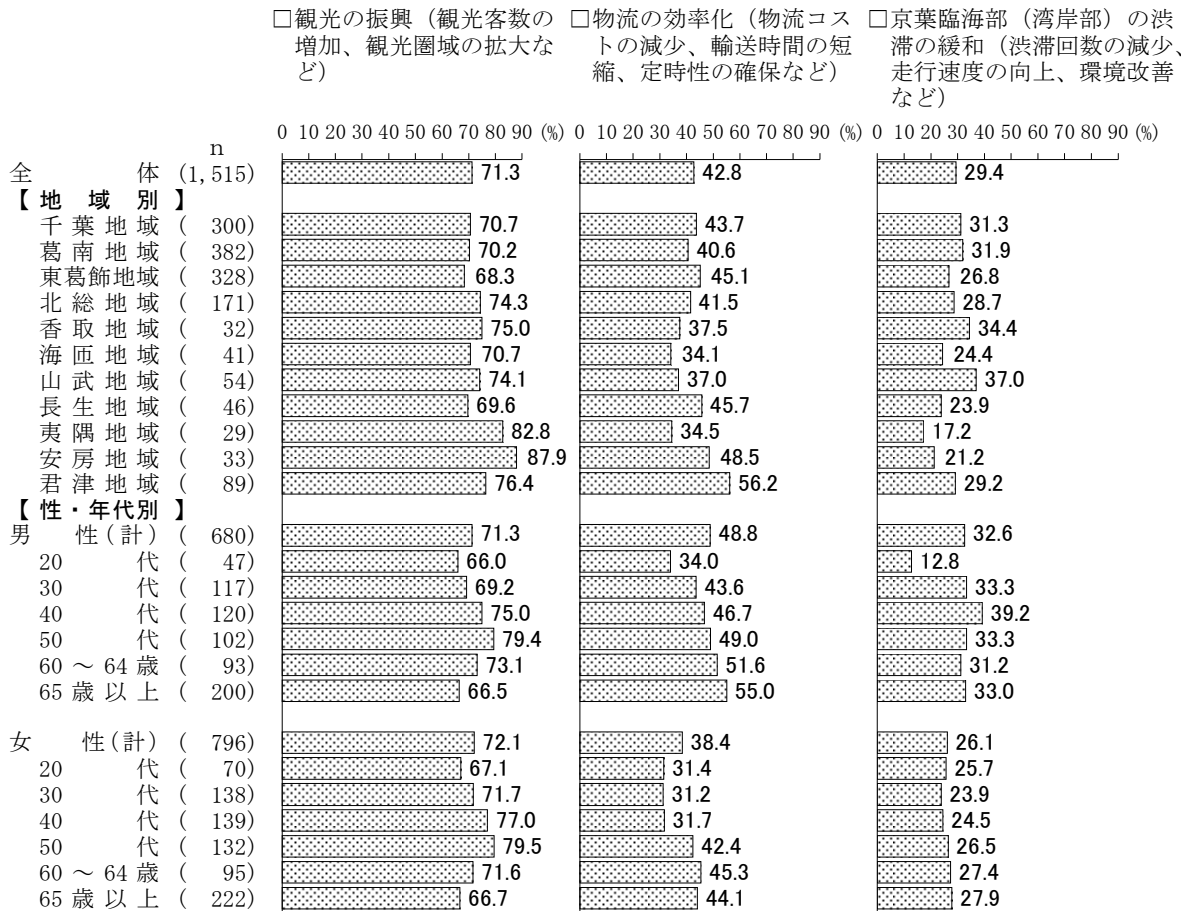
地域別にみると、「観光の振興（観光客数の増加、観光圏域の拡大など）」は“安房地域”（87.9%）が約9割で、“夷隅地域”（82.8%）が8割を超えている。「物流の効率化（物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など）」は“君津地域”（56.2%）が5割台半ばと多くになっている。「神奈川など対岸との交流の拡大（商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など）」は“君津地域”（47.2%）が約5割で、“山武地域”（42.6%）が4割を超えている。「企業活動の活発化（企業立地数の増加、就業者数の増加など）」は“君津地域”（43.8%）が4割台半ばとなっている。（図表42-2）

【性・年代別】

地域別にみると、「物流の効率化（物流コストの減少、輸送時間の短縮、定時性の確保など）」は男性65歳以上（55.0%）が5割台半ばとなっている。「神奈川など対岸との交流の拡大（商業圏域の拡大、通勤通学圏域の拡大など）」は女性60～64歳（42.1%）が4割を超えている。（図表42-2）

<図表42-2> 東京湾アクアラインの料金の引き下げに期待する効果

／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「道路整備について」やここまでの質問（問39～問42）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、177人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「道路整備について」の自由回答（抜粋）

- 渋滞が頻繁に起きる場所を調査し、交差点の拡張や右折レーンや右折用の信号機の増設等を行ってほしい。自転車の通行帯についても明確にしてほしい。自転車が車道を走行する危険性も考慮して、歩道の通行の可否を明確に定めてほしい。（男性・30代・北総地域）
- ETC以外でも料金が同じにしてほしい。（男性・50代・長生地域）
- 圏央道を早期に開通させ、また渋滞の起こりやすい地域にバイパスなどを建設して渋滞の緩和を促進するべきである。（男性・40代・東葛飾地域）
- 外環道の開通を早くお願いします。渋滞や安全、環境の対策にも通ずると思います。（男性・50代・葛南地域）
- 車椅子を使う人が障害なく動ける道路、そして自転車がスムーズに走れる道路があると、車を使う人が減ってそれが環境にもつながると思います。（女性・60～64歳・葛南地域）
- 都市圏の道路は充実していると思いますが、そうでない地域の道路で、歩道がせまかったり、舗装がガタガタだったり、車1台が通るのがやっとだったりするので、もう少し安心して使用できるようになると嬉しいです。（女性・20代・香取地域）
- 親は民宿を営んでいるが、アクアラインが出来て観光客は増えたが、日帰り出来るようになって宿泊客はかなり減ったという。私はバス会社で働いているが、高速バスの運転手は、連休のときはアクアラインの渋滞がひどく時間通りに走れないと言っている。（男性・20代・安房地域）
- アクアラインの料金を元に戻さないでほしいです。以前の料金では通りません。（女性・30代・海匝地域）
- 自転車道の充実・拡大を最も期待しています。町内だけでなく隣町へと広域に渡って整備することで千葉県全域、更に日本全体へつながって欲しい。交通事故をへらし、環境にも体にもやさしい自転車が安心して利用されるために。（女性・65歳以上・北総地域）
- 県道になると案内標識が少ない。混雑をさけて山の中の道路に入ると方向が掴めない。（女性・65歳以上・東葛飾地域）
- 以前よりは高速道路、幹線道路はより便利に整備されてきていると思います。狭い道路がまだかなりあります。用地の確保が大変でしょうか。歩行が危険な個所は早めの整備を願いたい。（女性・50代・葛南地域）